

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和01年12月20日

計画の名称	博多港海岸における総合的な津波・高潮・侵食対策の推進（防災・安全）												
計画の期間	平成27年度～平成31年度（5年間）										重点配分対象の該当		
交付対象	福岡市												
計画の目標	大規模地震に伴う津波、台風等に伴う高潮、海岸侵食に対して海岸保全施設の整備を行い人命・財産を防護する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	436	A	436	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H26末)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (H31末)
1	防護区域面積を0ha（H27）から62.3ha（H31）に増加させる。 防護区域面積[ha]	0ha	1ha	62ha
2	海岸保全施設の長寿命化計画の策定済みの施設数を0施設（H27）から、47施設（H31）に増加させる。 長寿命化計画の策定[施設]	0施設	23施設	47施設

備考等	個別施設計画を含む	<input type="radio"/>	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
策定した長寿命化計画に基づき、海岸堤防等老朽化対策緊急事業等によって、順次、施設の整備・改良を行う。												

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H27	H28	H29	H30	H31			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
海岸事業	A09-001	海岸	一般	福岡市	直接	福岡市	耐震	-	博多港海岸 (西戸崎地区)	延長 L=108m	福岡市						136	-	
	A09-002	海岸	一般	福岡市	直接	福岡市	高潮	-	博多港海岸 (能古 (北浦) 地区)	延長 L=284m	福岡市						212	-	
	A09-003	海岸	一般	福岡市	直接	福岡市	老朽化	-	海岸施設長寿命化計画	47施設	福岡市						68	-	
	A09-004	海岸	一般	福岡市	直接	福岡市	老朽化	-	博多港海岸 (和白地区)	延長 L=850m	福岡市						20	策定済	
												小計						436	
												合計						436	

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H27	H28	H29	H30	H31
配分額 (a)	83	35	40	14	10
計画別流用増 減額 (b)	0	0	0	0	0
交付額 (c=a+b)	83	35	40	14	10
前年度からの繰越額 (d)	0	60	15	23	14
支払済額 (e)	23	80	24	23	24
翌年度繰越額 (f)	60	15	31	14	0
うち未契約繰越額(g)	60	0	23	0	0
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	0
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	72.28	0	41.81	0	0
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由	国の1月補正により60(百万円)配分されており、契約に要する時間が年度内に確保できないため。		国の2月補正により23(百万円)配分されており、契約に要する時間が年度内に確保できないため。		